

## 我ら千葉組 5 人衆

9 期 千葉組

KUWV9 期の我ら、称して不良老人千葉組 5 人衆。年に数回の山行とゴルフそして飲み会を行っています。

メンバーは千葉県北西部に住む伊藤俊成、伊藤博道、清水一、鍋島武と吉田洋次郎（敬称略）です。ではその組員の近況を紹介します。

伊藤俊成はゴルフと飲み会の段取り役。絶妙のタイミングでお誘いがかかります。ゴルフでは他のメンバーからがっぽり稼いでいるようです。

飲み会は船橋近辺の居酒屋かたまには韓国料理・中華料理屋です。ちょっと前までは飲み放題を予約し、底なしの飲みっぷりで店の経営をかなり圧迫したようです。でも近頃は年齢とともに酒量が減り（?）、料理だけ予約するようになったそうです。

中国には「麒麟も老いれば馱馬になる」という言い伝えがあるそうですが、でも千葉のウワバミはいつまでたっても衰えを知らないようです。



飲み会（伊豆）にて

伊藤博道は飲み会の会計係、元銀行員の経歴を活かしてきちっと割り勘の負担額を素早く計算してくれます。最近は何かにのめり込んで勝ち負けに一喜一憂しているようです。

清水一は現役の司法書士。世のため他人のため社会正義に務めています。最近は何かの調子が悪く、山行に参加できないのが残念です。

鍋島武は山行の幹事役。メンバーの体力に合わせて関東近辺の日帰り登山計画を綿密に練ってくれます。彼は下山後、赤ちょうちんに立ち寄れる山を選んで見繕っているのではと筆者はうがった見方をしています。そんな彼は山行記録をきちんと整理していて、その出来栄は素人とは思

えないほど見事です。

吉田はまったくおんぶにだっこで声がかかれ山行・飲み会に付いていくという楽な生き方をしています。



日光鳴虫山にて

そうそう忘れてはいけませんもう一人、オブザーバー参加するのが都内に住み伊豆に温泉付きの別荘を持つ山中重夫（敬称略）です。いつまでたっても抜けない関西弁と豊富な話題で、山行に彼が加われば“熊避けの鈴”も不要です。



岩殿山（大月市）にて



筑波山にて

こんな我々も飲み会での最近の話題は終活です。残す財産はないから相続争いは起きないだろうけど、残されて迷惑な物を今のうちにどう片付けるか。時間はたっぷりあるのに手付かず状態です。

我々が知り合って半世紀。さていつまで・・・。

（文責：吉田洋次郎）